

平成 26 年度 RISH 電波科学計算機実験(KDK)シンポジウム
(第 281 回生存圏シンポジウム)

プログラム

日時： 平成 27 年 3 月 9 日 (月) , 10 日 (火)

場所： 京都大学 宇治キャンパス 木質ホール 3 階

3 月 9 日 月曜日

15:00 – 15:05 開会の辞

15:05 – 15:25 田中高史

グローバル M-I 結合シミュレーションによるサブストームの再現

15:25 – 15:45 藤田 茂

昼間 magnetosheath-magnetopause 域での 3 次元 separator reconnection のダイナミクス

15:45 – 16:05 蔡 東生

Analysis of the Alfvén transition layer in the cusp region by the use of 3D global particle-in-cell simulations

16:05 – 16:25 梶村好宏

3D ハイブリッド粒子モデルを用いた磁気ノズル型プラズマセイルの推力評価

16:25 – 16:45 加藤雄人

Dependencies of the generation process of whistler-mode emissions on temperature anisotropy of energetic electrons

16:45 – 17:05 小路真史

EMIC トリガード放射による非線形波動粒子相互作用

17:05 – 17:25 久保田結子

Simulations of relativistic radiation belt electrons interacting with EMIC triggered emissions in the plasmasphere

18:00 – 20:00 **懇親会** (宇治キャンパス内・レストランきはだ)

3月10日 火曜日

09:00 - 09:20 坪内 健

ピックアップイオン加速機構の研究

09:20 - 09:40 清水 徹

高速磁気再結合過程の三次元不安定性におけるガイド磁場の効果

09:40 - 10:00 近藤光志

地球磁気圏近尾部バウンスフローの数値計算と衛星データ解析

10:00 - 10:20 三宅洋平

プラズマ粒子シミュレーションのMICアーキテクチャ向け高効率実装の展望

10:20 - 12:00 ポスターセッション

ポスターセッション (3月10日 10:20 - 12:00)

(ポスターは9日午後から掲示できます。ボードの大きさは180 cm(横)×90 cm(縦)です。)

1. 鷹尾祥典 超小型イオンスラスタを利用したイオンビーム中和機構の数値解析
2. 福田雅人 イオンエンジン内部の電子サイクロトロン共鳴過程に関する3次元シミュレーション
3. 益田克己 MHD 技術を利用した再突入プラズマ流れの能動的制御に関する3次元電磁流体シミュレーション
4. 淵田泰介 GPGPU を用いた非対称磁気リコネクションの数値計算
5. 中村雅夫 イオンスケール磁気圏の昼側境界構造
6. 田所裕康 Energy dependent electron elastic scattering by water molecule originating from Enceladus
~Test particle simulation~
7. 中山洋平 サブストーム発生時における磁気圏高エネルギーイオンフラックスの急増過程について
8. 三宅壮聡 広帯域静電ノイズ低周波成分に関する3次元電磁粒子シミュレーション
9. 西 憲敬 静止衛星赤外データによる雲頂高度気候セットの作製
10. 疋島 充 WPIA 計測におけるコーラス波形処理および計算機実験による評価
11. 海老原祐輔 サブストーム時の内部磁気圏高エネルギー電子変動